

生活排水を下水道に流すことで川はきれいになります。

那覇市の川マップ ～みんなの近くの川を探してみよう～

みなさんは家や職場の近くを流れる川を意識されたことがありますか？

右地図のように那覇市内にもたくさんの川が流れています。都市化が進むにつれ、川は汚れてしまいましたが、下水道の普及や環境活動が成果をあげて安謝川のようにきれいになった川もあります。生活排水をきちんと下水道に流すことは、川をきれいにする第1歩です。

那覇浄化センター
下水道に接続された家庭や事業場からでた汚水は汚水管を通りここに送られます。ここできれいに処理してから東シナ海に放流されます。

久茂地川(久美橋)

ハーゲラ川

具志川

安謝川(平良バス停付近)

真嘉比川

安里川

久場川

金城川(石畳付近)

三原水路

カーブ川(弓張公園内)

国場川

袋廻川(鏡原中横)

※那覇市内を流れる2級河川(公共の利害に重要な関係がある河川で都道府県知事が指定したもの)は、安謝・安里・国場・久茂地・真嘉比・金城・潮渡川ですが、この記事ではそれ以外も川と表現しています。

美しい川をめざして 安謝川の浄化活動が「いきいき下水道賞(国土交通大臣賞)」を受賞

首里石嶺町→首里平良町→首里末吉町→安謝へと流れる安謝川は、下水道が整備されないまま流域の人口が急増したため生活排水が流入し、水質が悪化していました。市では、下水道の整備と接続への取り組みを積極的に行うなど市民と協働して安謝川の浄化活動を行い、以前は洗剤の泡が吹きあげられるほど水質が悪化していた川が今では小動物が息息するまでに改善されています。平成19年度には『第16回いきいき下水道賞(国土交通大臣賞)』を受賞することもできました。これまでの下水道接続への取り組み、市民が主体になった清掃活動や環境学習が安謝川を改善できた原動力です。

生活排水による水質汚濁が進んでいた安謝川

水質改善後の安謝川

現在の安謝川

子どもたちが川の生き物を調査 写真提供 沖縄県建設弘済会

下水道が普及すると…

私たちは日常生活や社会活動において、さまざまな形で大量の水を利用しています。使われた水をそのまま流してしまうと、川や海は汚れていくばかりです。川や海を汚さずにきれいな水によみがえらせ、私たちの生命や安全を守ってくれる下水道は、私たちの生活を支える重要な施設です。

①トイレの水洗化

- 衛生で快適なトイレが使えるようになります。
- 悪臭が無くなり、掃除も楽になります。

②生活環境の改善

- 汚い水たまりやドブがなくなり、衛生的な街になります。
- 側溝等の悪臭が解消されます。
- ゴキブリやハエなど、害虫の発生を防ぎます。
- 浄化槽の維持管理が不要になります。

③水質の保全

- 生活排水を浄化して流すため川や海の水の汚濁を防止します。

④浸水被害の防止

- 雨水を速やかに排除し、浸水を防止します。
- 浸水を防ぐことで生命や財産を守り、安全な街づくりを行うことも下水道の役割です。

やってみよう! 家でのエコアクション

私たちの家の近くを流れる川はやがて安謝川、安里川、久茂地川、国場川と合流し、海へと流れていきます。上で紹介した安謝川のように、市民の清掃活動、各家庭での下水道への接続といった小さな取り組みが大きな効果をもたらします。みなさんが毎日の生活で行うちょっとした取り組み『エコアクション』は大きな力になるのです。大切な子供達に、今の自然環境を残すためには、毎日の生活で心がけることが大切です。

台 所

- ☆水は出しすぎず、こまめに止める
- ☆食器の汚れは使用済みのキッチンペーパーや布などでふき取って洗う

お風呂

- ☆シャワーはこまめに止める
- ☆歯磨きはコップを使って

せんとく

- ☆注水すぎはしない(水を流しながらのすぎ)
- ☆洗剤は適量で
- ☆お風呂の残り湯を使う

きれいに流す!

- ☆てんぷら油や生ゴミを流さない
- ☆ベランダ排水はやめる
- ☆洗剤は適量を使う
- ☆下水道に接続する
- ☆合併型浄化槽の設置(下水道未供用地域)

残り湯だと汚れ落ちもよくなるよ。

下水道に接続することは今の自然環境を守る事に繋がります。